

①KBS ニュース（2018年10月28日付け）

ソウル・京畿 野鳥糞便でAI抗原検出

出典 URL:

<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=4060952&ref=A>

（機械翻訳等に基づく仮訳）

農林畜産食品部は、京畿道抱川市の抱川川とソウル市城東区の中浪川から採取した野生の鳥糞便から H5 型鳥インフルエンザ、AI 抗原が検出されたと明らかにした。

農食品部はこれを受け、抗原が検出された地点を中心に半径 10 km を「野生鳥獣類予察地域」に定め、この地域で飼育されている家禽や鳥の予察を強化し、移動を制御している。

農食品部は、「高病原性かどうかなどを最終判定するには 3~4 日ほどかかる予定」と明らかにした。

②農林畜産食品部プレスリリース（2018年10月30日付け）

京畿道抱川市（抱川川）野鳥糞便精密検査の結果、低病原性鳥インフルエンザ（AI）確定

出典 URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEBSJTJGYmJzJTJGbnWFmcmEIMkY2OCUyRjMxODVvOSUyRmFydGNsVmlldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTN EJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNLJTI2cmdzRW5kZGVtdHlIM0QlMjZwYWdlJTNEMSUyNmJic09wZW5XcmRTZXEIM0QlMjZvZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNn NyY2hXcmQlM0QlMjZwYXNzd29vZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4lM0QlMjZvb3clM0QxMCUyNg%3D%3D>

（機械翻訳等に基づく仮訳）

農林畜産食品部（長官：イゲホ）は、10月25日に京畿道抱川市の抱川川から採取した野生の鳥糞便の農林畜産検疫本部における精密検査の結果、10月30日、低病原性 AI（H5N2 型）に最終確定されたと明らかにした。

農食品部は低病原性 AI 確定に応じて、地域に設定された防疫帯を解除したが、冬の鳥が到来して、野生の鳥で AI 抗原が持続検出されており、家禽農家では、ブロック防疫上の注意を遵守しなければならないと呼びかけた。